

基礎数学 I (数学への入門)	履修年次	1	
	単位	2	
和泉 正明、丹羽 恵理子	配当期	前	
	授業方法	講義 / 対面	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>ものの個数を数えるという日常的な行為から「数」が生まれ、長さや面積を測るために三角形や円などの図形を使う考え方が生まれた。そして、それら数や図形の性質を研究する学問として「数学」が生まれ、今日までさまざまな発展を重ねてきた。</p> <p>数学と聞くと、式やグラフばかりで実際には何に役立つのかわからないと思うかもしれない。しかし、数学は現代の文明において、もっとも役立っている学問のひとつと言っても過言ではない。コンピュータのプログラムも、経済現象の解析も数学なくしては不可能である。</p> <p>この「基礎数学 I」は、皆さんが社会生活を送る上で重要な基盤となると思われる数学の知識と技能および知恵が得られる内容となっている。ここで学ぶ内容をじっくりと取り組んでいくことで、数学の意味と楽しさを味わい、数学という学問への理解を深めてもらいたい。なお、授業外学習の指示は manaba で行うこととする。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低限必要な数学の基本的な知識や能力を身につけ、具体的な問題について活用することができる。</li> <li>・自力で問題を解くことができ、記述式問題の答案を作成することができる。</li> <li>・大学で学ぶ数理的技法習得の前提となる力を身につけ、最終的には発展的な問題に応用させることができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
定期試験、授業出席、授業外学習、小テストから下記のウェイトで評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	「基礎数学 I」の授業の内容について	8	関数とは何か？—変化と相互連関
2	算数から数学へ—数の概念の誕生	9	関数とグラフ—変化を視覚的に表す
3	向きを持つ量と正・負の数	10	1 次関数—様な運動、様な変化を表す
4	不等式の基本性質と解法	11	連立 1 次方程式とその解法
5	不等式の応用—文章問題	12	2 次方程式とその解法
6	等式の基本性質と方程式の解法	13	2 次関数—様ではない運動を表す
7	方程式の応用—文章問題	14	これまでの振り返り